

【ホームページへの掲載用の研究概要】

研究課題名 子宮がん検診における、液状検体法(LBC)及び細胞診・HPV 併用検診の有用性に関する研究

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て理事長が許可した研究であり、2011年4月から2020年3月までの期間に当財団での子宮がん検診（集団検診）を受診した方を対象に、液状化検体法や細胞診・HPV 併用検診などの検査方法について検討することを目的とし、研究期間は 2020 年度末までの予定です。

この研究により、子宮がん検診の有効性等が明らかになれば、子宮がんの予防・早期発見や保健指導に有用な情報を提供することができます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体資料の採取は行いません。
2. 受診者の皆さまの個人情報を削除した上でデータの分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究は（株）キアゲンからの研究補助金を受けて実施しますが、主任研究者及び分担研究者は、本研究に関し同社との間に利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合は、下記までご連絡ください。

研究責任者

公益財団法人ちば県民保健予防財団
総合健診センター顧問 河西十九三
検査部病理細胞診断科 グループ長 立花美津子